

「 ヴィジョンを持つということ 」

ヴィジョンとは遠くにあるものではなく、私たちが踏んでいるその足元にある。

遠くにあるものを見ながら、今この一瞬や現実の足場を直視しなければならない。

それゆえに、私たちの生活は、理想主義的なものでありながらも現実的でなければ

ならない。今日に生きることが、明日に、あるいは来年、さらにその先の将来につながる。

(いのちの言葉 日野原 重明より)

キラキラと煌めくイルミネーションやあちらこちらで流れるクリスマスソングに心が躍り、花屋の店先に並ぶ真っ赤なポインセチアを見るとさらにクリスマスへのワクワク感が増してきます。クリスマスカラーである赤(イエスキリストの血の色・愛と寛大さ) 緑(永遠の象徴) 白(純白さ) を表した、葉の形がキリストの聖地であるベツレヘムの星を(キリストの降誕を知らせた)イメージさせ縁起の良い植物としてノーチェ・ブエナ(聖夜)と呼ばれています。行事の意味や由来、背景にあるものを少しでも考え知ることによって心持も変わってくると思います。私たちは、日頃与えてもらうことに喜びを感じ、感謝や祈りをささげることも多いと思いますが、それだけではなく苦しみや悲しみの中にある人達のために祈りを捧げていきたいと思っています。

さて、今月はクリスマス祝賀会が開催されます。において日頃培ってきた表現力を見ていただく発表会に向けての一時的な取り組みではなく、日頃行っているリズム遊びやリミックなど五感を用いながら身体を動かすことにより心の基礎を形成し成長を促すだけでなく音楽に合わせ、音を聞き感じたことを動きで表現したりと、日々の遊びの中で感性を養っています。子どもたちの育みを願い、目標を持つ中で、確実な体験や経験を通し多くの成長や学びが見られます。その時の、子どもに応じた育ちに合わせ柔軟性を持ちながらプロセスを大切にしていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 12月聖句 】

光は暗闇の中で輝いている。

ヨハネによる福音書1章 5節

【 12月主題 】

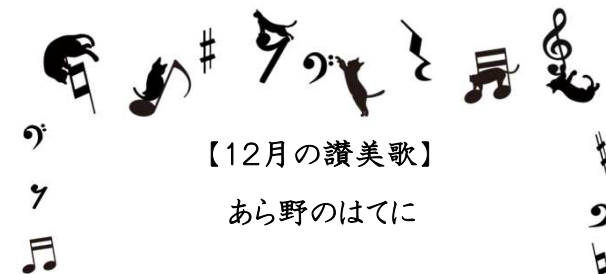
「 喜ぶ 」

0歳

- ・イエスさまのお誕生を喜ぶ
- ・クリスマスの雰囲気を感じ楽しむ
- ・寒い冬も元気に過ごす
- ・クリスマスの絵本をみたり、さんびかをきく

1、2歳

- ・イエスさまのお誕生を喜ぶ
- ・保育者に見守られながら、自分で出来るが増える
- ・冬の自然に触れ、興味をもって遊ぶ
- ・クリスマスの絵本やさんびかにふれる



12月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12 クリスマス祝賀会	13	14	15
16 身体測定	17	18	19	20 避難訓練	21	22
23	24	25	26	27 クレイシュ通信	28	29
30	31					

【 お願いとお知らせ 】

- ・クリスマス会の詳細については後日おたよりを配布いたします。
- ・戸外遊びに着用する上着は、動きやすく、安全性を考慮しフードや華やかな装飾のないもののご持参をお願いいたします。
- ・感染症などの疑いのある場合は医療機関を受診の上担任までお知らせをお願いいたします。

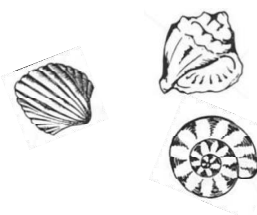
0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～

舞い散る枯れ葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じるこの頃。

収穫祭では、天の恵みに感謝しながら様々な果物や野菜の感触を味わいました。柿のヘタをつまんだり、大根の大きな葉を撫でたり、時には良い香りのするみかんに鼻を近づけ食べたそうな素振りを見せていました。興味深そうに見つめては触り気持ちを「あー」と声を発し伝えようとする姿も見られました。興味関心を大切にしながら食べ物や神さまに感謝する気持ちをこれからも伝えていきたいと思ひます。

また、季節の歌を身振り手振り楽しむことも多くなりました。「大きなりのきのしたで」や「どんぐり」では、動きを模倣して頭に手を置いたり両手をぐるぐると回す動作も上手になりました。「クリスマスの歌が聞こえてくるよ」の曲が流れるとリズムに合わせて身体を左右に動かしスティックを振ったり、音楽に合わせて思い思いに表現しています。

クリスマス会では、初めての舞台に泣いてしまうこともあるかもしれませんが、日々のリズムや歌遊びなどを通し、育まれてきた表現力やご覧いただけたらと思ひます。



1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

日に日に空気が冷たく感じる今日この頃。

11月に行われた収穫感謝祭では、豊かな実りを喜び、神様からの恵みに感謝をしてお祈りをしました。子どもたちは、たくさんの果物や野菜にとっても興味を示し手に取り触れてみたりくんと、匂いを嗅ぐ姿が見られました。「これは?」と食べ物の名前を尋ね繰り返し言葉にする子やじっと栗のイガを不思議そうに見つめる子もいました。夏に大根の葉で絵を描いた経験からか「だいこんだ!」「持ちたい」とカー一杯持ち上げ、少し足元がふらつきながらも落とさないようにしっかりと抱きかかえ「見て」「すごいでしょ」と誇らしげな表情を浮かべる様子も見られました。調理前のそのものの姿に触れ肌で感じ、食べ物に興味を持ち、名前を少しずつ覚えたりと食べる喜びを生み出す良い機会となりました。さらに、見て触れたことのある食べ物が給食に出ることさらに「見たね」「にんじん触ったね」と会話を弾ませ喜びながら食べる事が出来ました。これからも、食の楽しさ大切さを伝えていきたいと思ひます。

いよいよクリスマス祝賀会があります。慣れない舞台上で泣いてしまう子もいるかもしれませんが、温かく見守っていただけたらと思ひます。

2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

街のあちらこちらにクリスマスの飾りが見られるようになり、子どもたちも「クリスマスの歌をうたいたい～」とリクエストをすることも多くなりました。ロズさんだり、曲にのせ自然に身体が動き、好きな振り付けを見つけ踊ったり、友だちと一緒にダンスをする喜びを全身で表し楽しそうな声が響いています。クリスマス祝賀会ではぜひ子どもたちの表現する力や表情をご覧いただきたいと思ひます。

先月の収穫祭ではご家庭から果物をお持ち下さりありがとうございました。様々な秋の実や食材に触れ、自然の恵みと収穫を与えて下さる神さまに感謝する良い機会になりました。「きのこ大好き」「変な形だね」「いい匂いがする」と五感を働かせ触れながら匂いを嗅ぎ「重いね」と大きな大根を持ちあげてみたり「穴があいてるよ」と虫食い跡を見つけたりと、小さな発見やたくさんの気づきがありました。また、野菜の名前クイズも大きな声で答えることが出来ました。その日の給食では、好き嫌いがある子も「今日はいっぱい人参食べれる」「美味しいね」と嬉しそうに話しながら意欲的に口に運ぶ姿が見られました。食生活をより健康的なものにし、食べる楽しさを伸ばしていけるようこれらの経験を大切にしていきたいと思ひます。

